

阪南市介護保険事業の特徴

令和5年8月

本市の介護保険事業について地域包括ケア「みえる化」システムより、人口規模が類似している府内団体と比較し、本市の特徴と要因を分析実施しました。

I.類似団体

比較した府内市町は、近隣の泉南市、及び人口規模が類似している高石市、大阪狭山市の3市です。

	世帯数	人口（人）	行政区域面積（km ² ）
阪南市	24,134	51,021	36.17
泉南市	26,473	59,083	48.98
高石市	26,248	56,604	11.30
大阪狭山市	26,242	58,018	11.92

II.高齢化率系年齢変化

(図1)

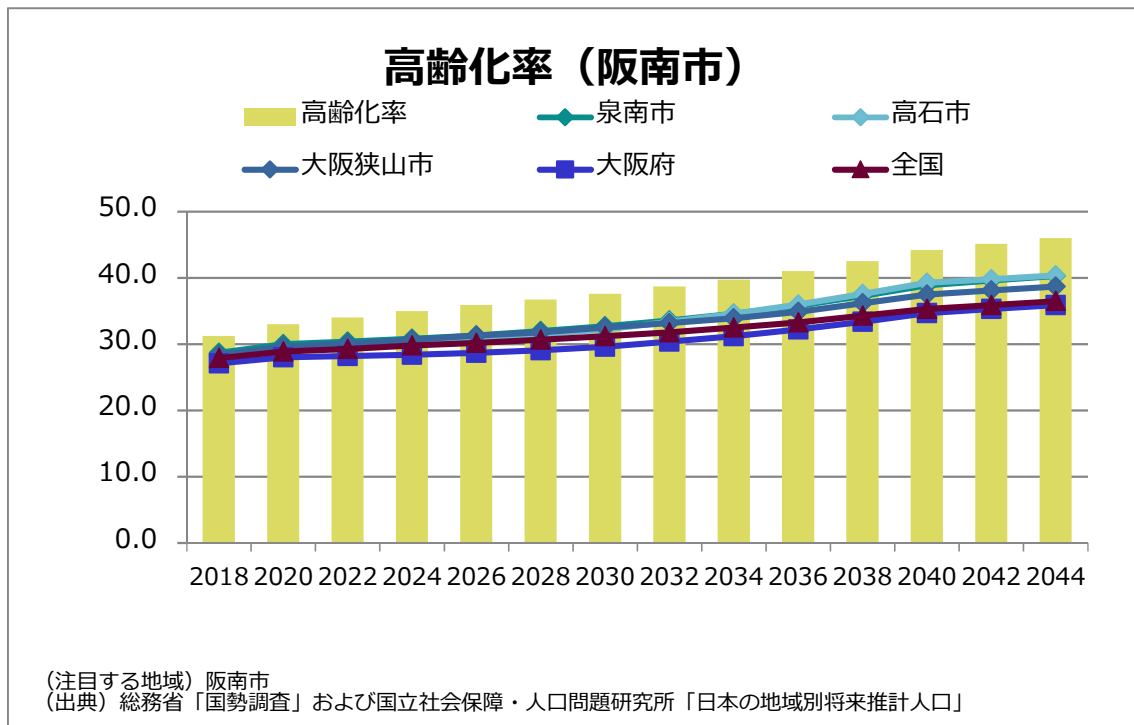
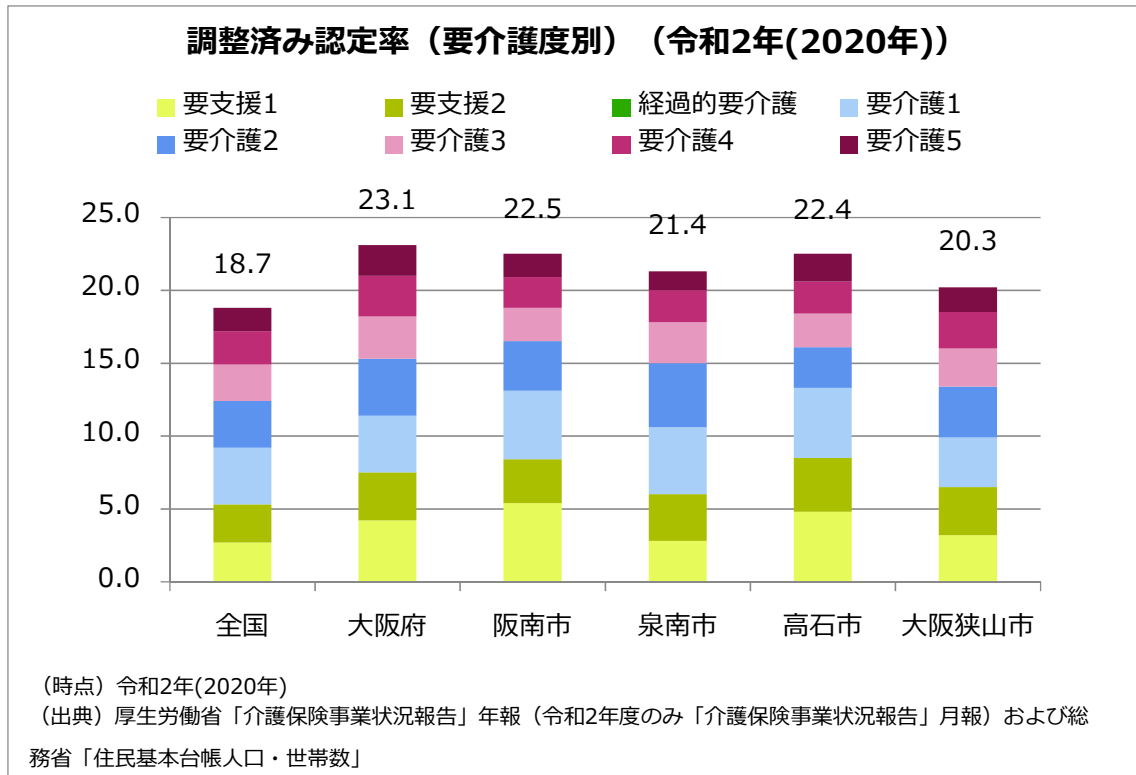


図1で本市の高齢化率を棒グラフで表しております。

全国、大阪府や類似団体と比較しても、本市の高齢化率は高く、2044年（令和24年）には46%を超える見込みとなっております。

Ⅲ.要介護認定率

(図2)



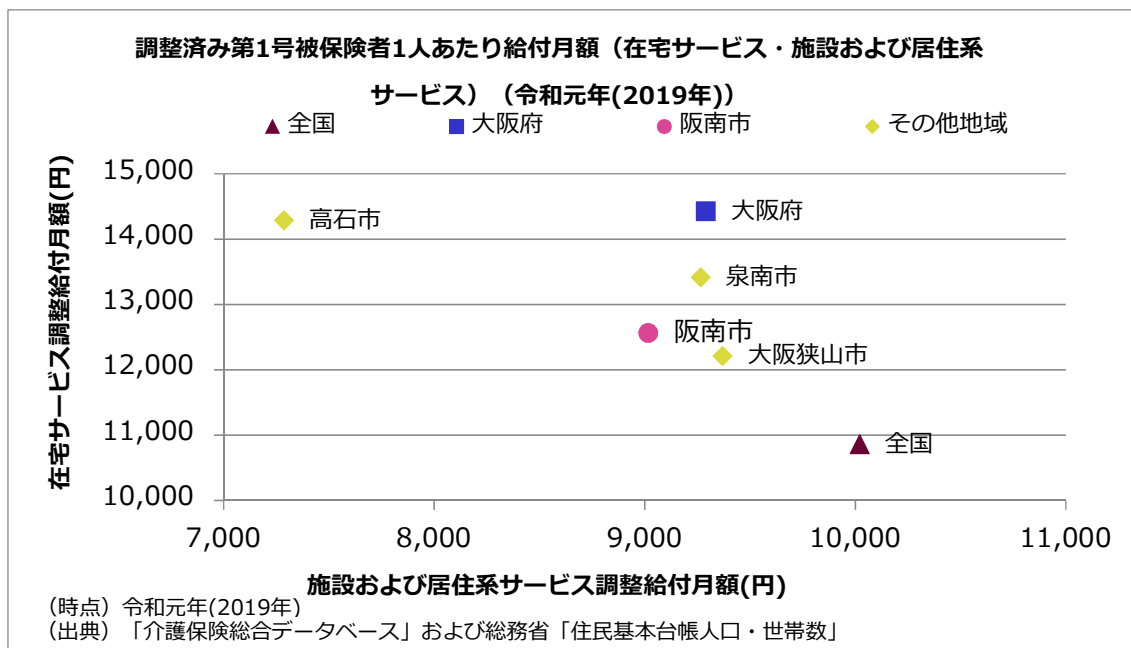
※本指標は要介護度別の「調査済み認定率」を示すものです。「調査済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味します。

図2で大阪府は全国的に見て、高い認定率となっております。

阪南市は府内に比べると、低い認定率ですが、年々増加傾向にあり、類似団体の中では、一番高い認定率となっております。

Ⅲ.一人当たりの給付費（費用額）年間等調整済み

(図3)



※本指標は「調整済み第1号被保険者1人あたりの給付月額」を、在宅サービスと施設および居住系サービスという軸で分け、散布図で示したものです。「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額を意味します。

図3で本市の給付月額は、府内類似団体と比較して、在宅サービスは大阪狭山市に次いで低く、施設及び居住系サービスは高石市に次いで低くなっており、4団体の中では中間的な値ですが、全国平均から見ると、在宅サービスに係る費用は、高くなっております。

V. まとめ

本市の特性としましては、性・年齢構成の影響を除外した給付データで、全国平均と比べ、在宅サービスは高く、施設サービスは低い値となっております。また、認定率も全国平均と比べますと、高くなっております。

ひとつの要因として、大阪府は、要介護認定者（認定率）が多く、また、要支援1・2の割合が多いなどの理由が考えられます。

また、高齢化率の経年変化を見ましても、全国や大阪府と比べ上昇率がより高くなっており、本市の第8期介護保険事業計画における介護保険料（6,200円）は全国平均（6,014円）を超えた状態となっております。

今後は、より一層の地域包括ケアのさらなる「深化・推進及び介護予防などの取り組みが必要となってきます。

参考

※下記につきましては、現時点での将来推計ですので、実際の数値とは異なります。

将来推計

2025年度における要介護者・要支援者数

要介護者数 2,662人 要支援者数 1,500人

介護保険料

2025年度介護保険料 6,507円/月 (基準額 推計)

2025年度における日常生活圏域単位の65歳以上の人口

尾崎地区：2,215人 西鳥取地区：4,387人 下荘地区：3,922人

東鳥取地区：7,171人 合計 17,695人 (2025.9.30推計)

2025年度における認知症高齢者数

$17,695人 \times 20\% = 3,539人$

2025年度における一人暮らし高齢者数

資料：国立社会保障・人口問題研究所

大阪府世帯数

単独世帯数 548,035人 (2015) …A

612,997人 (2025) …B

伸び率 111.853%

本市高齢者単身世帯数 (2015) 2,513人 $\times 111.853\%$

$= 2,811人$ (2025推計値)